

守り育てる私たちの「景観」

アンケート調査の結果から

市は、「山並みや川の流れなどの自然の景観」「まちなぎわいや伝統的な建物のたたずまいの景観」「棚田や畑などの農村の景観」など、市の優れた景観を守り育て、つくっていくために、景観まちづくりの指針となる景観計画の策定を進めています。

■問い合わせ 歴史まちづくり課 ☎0257



豊かな自然景観をはぐくむ田園風景（中井町）

「景観」アンケートを実施

景観計画を策定するにあたって、市民の皆さんが「景観」について、どのように考えているかを把握し、基礎資料とするため、アンケート調査を行いました。

調査は、無作為に抽出した20歳以上の市民2000人（回収率40・8%）と市内の事業所250社（同67・2%）を対象に今年1月に実施しました。

■景観への重要性

市民アンケートでは、「市の景観は魅力的か」（グラフ①）の問いに6割の人が魅力的であると回答しています。また、その景観を守るための「景観づくりの重要性」（グラフ②）については8割の人が重要であると感じていることがわかります。

また、事業所アンケートでは、「事業所の良好な景観づくりの取り組み」（グラフ③）の問いに、「行っている」「行っていないが今後行う予定である」を合わせると、7割の事業所が良好な景観に配慮していることがわかります。

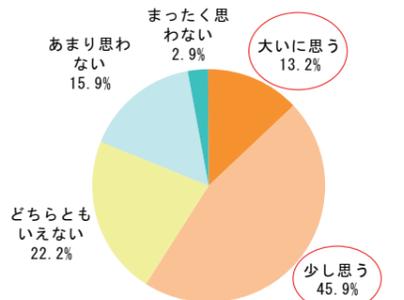
■「高梁らしさ」魅力ある景観

市の景観について、「自慢できる景観や好きな景観」（表①）を分野別に聞いたところ、「町並みや集落の景観」では「吹屋の町並み」、「祭り・イベントなどの地域行事」では「備中松山踊り」と回答した人が多くなっています。

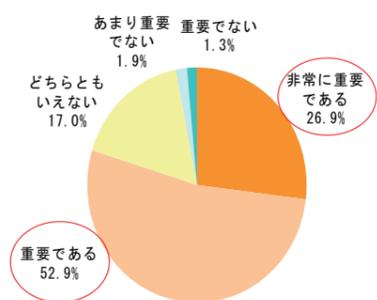
また、「神社仏閣などの歴史・文化的な景観」では「備中松山城」や「頼久寺庭園」、「景観上重要な公共施設」では、「成羽美術館」や「旧吹屋小学校」などが挙がっています。

このほか、「田畑や里山などの農業的な景観」「山・河川などの自然的な景観」では、「各地域の棚田」や「高梁川」「弥高山」などが挙がっています。こうした回答から見ると、伝統的な町並みや建造物に加え、豊かな自然や、祭り・イベントなども景観として捉えられていることが伺えます。

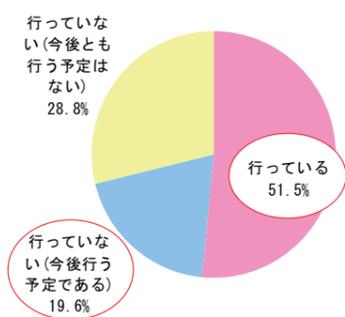
◆市の景観は魅力的か（グラフ①）



◆景観づくりの重要性（グラフ②）



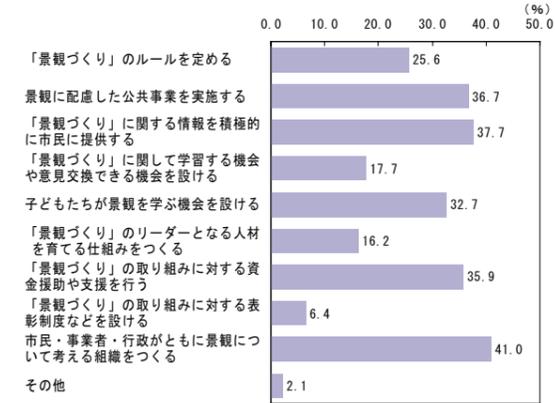
◆事業所の良好な景観づくりの取り組み（グラフ③）



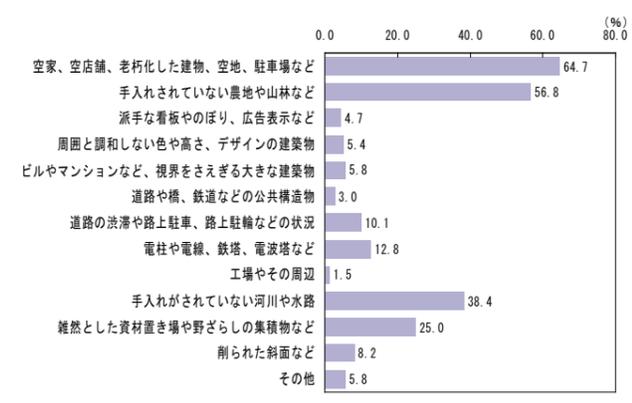
◆特徴的で良好な景観や愛着を感じる景観として回答があった景観資源（上位5つ）（表①）

分野	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
町並みや集落の景観	吹屋の町並み	本町の町並み	武家屋敷	備中高梁駅前	ループ橋から町の眺望
田畑や里山などの農業的な景観	宇治町、松原町、中井町西方柴倉地区、吉備高原の棚田	—	—	—	—
山・河川などの自然的な景観	高梁川	弥高山	成羽川	夫婦岩、紺屋川	—
神社仏閣などの歴史・文化的な景観	備中松山城	頼久寺庭園	薬師院	高梁基督教会堂、稻荷神社	—
祭り・イベントなどの地域の行事	備中松山踊り	成羽愛宕花火	マンガ絵ぶた祭り	備中神楽	渡り拍子
景観上重要な建造物や樹木	備中松山城	広兼邸	吹屋小学校	高梁基督教会堂	紺屋川の桜
景観上重要な公共施設	成羽美術館	高梁総合文化会館、旧吹屋小学校	うかん常山公園	高梁市郷土資料館	—
特にあなたが好きな景観	備中松山城	吹屋の町並み	紺屋川	備中松山踊り	弥高山

◆市に期待する取り組み（グラフ⑤）



◆景観上好ましくないもの（グラフ④）



■「好ましくない」景観

「良好な景観の障害となっているものや、景観上好ましくないと感じるものがあるか」（グラフ④）の問いには、「空き家、空き店舗、老朽化した建物、空地、駐車場など」が64・7%と最も多く、次いで「手入れされていない農地や山林など」が56・8%、「手入れされていない河川や水路」が38・4%となっています。

■市に期待する取り組み

「良好な景観づくりを進めていくために市に期待すること」（グラフ⑤）を聞いたところ、次のような回答がありました。

「景観計画」の策定

アンケート調査の結果によって、多くの市民の皆さんが「景観」を恵まれた自然と歴史文化が調和した地域特有の資産と捉えていることがわかりました。市は、平成25年度末までに策定することとしています。

景観ワークショップを開催

参加者募集

市民の皆さんの好きな景観や課題、地域の将来像などについて一緒に考え、話し合いませんか。次の2つのテーマで、2回にわたって行います。

【城下町高梁と駅周辺の景観】

第1回目：7月1日（日）
第2回目：7月29日（日）
会場：高梁市文化交流館

【吹屋の景観】

第1回目：7月22日（日）
第2回目：8月5日（日）
会場：成羽公民館吹屋分館

▶時間：午前9時30分～正午
▶対象：小学5年生以上
▶定員：各開催地区40人程度

■問い合わせ・申し込み
歴史まちづくり課 ☎0257